

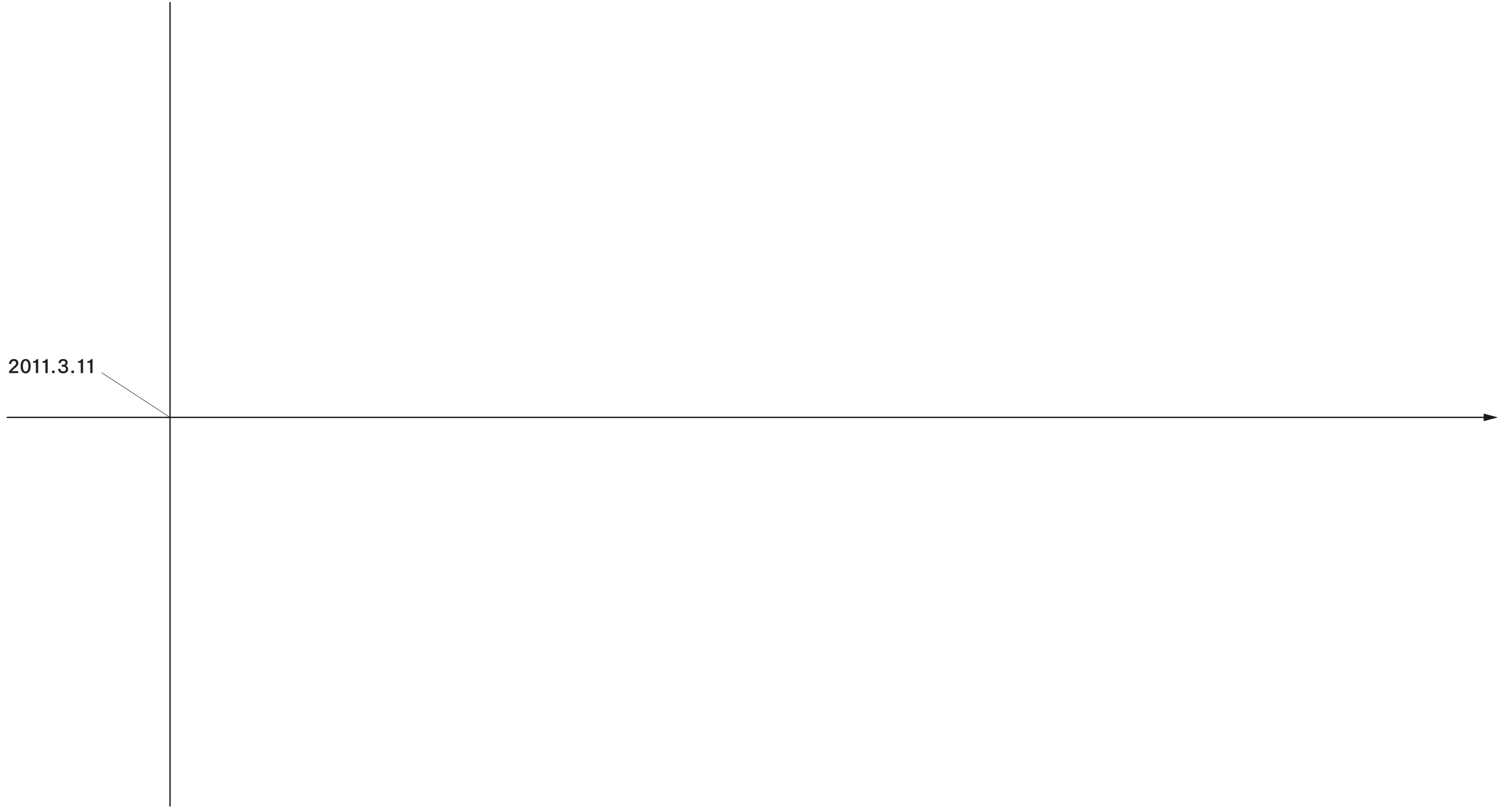
# 道のリシート

暮らしや気持ちの変化になぞらえて

東日本大震災からのあなたの道のりを、曲線で教えてください

記入日 20 / /

2011.3.11



あなたについて

	震災当時	現在
年齢	→	
居住地	→	
ご職業など	→	

つぶやき

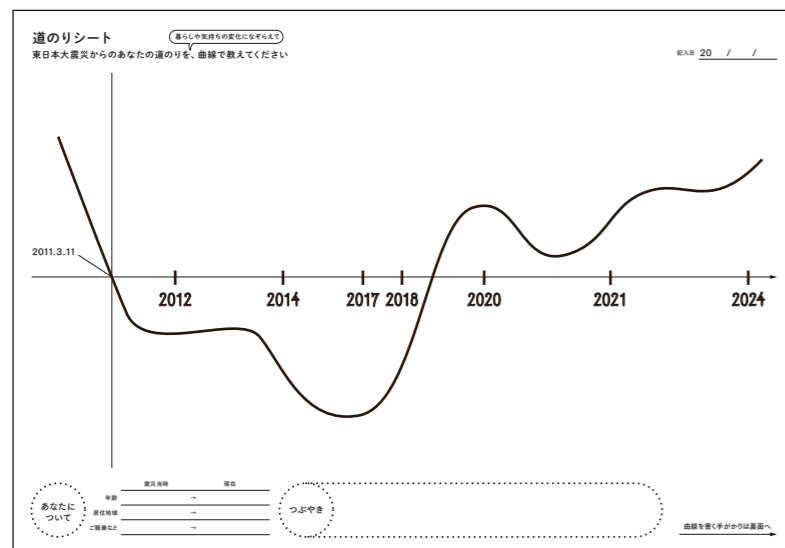
曲線を書く手がかりは裏面へ

このシートは、「復興曲線」※の手法を用いて災害復興研究を行う宮本匠氏（大阪大学）と、「3がつ11にちをわすれないためにセンター」が協働で企画したものです。

本シートにご記入いただいた内容は両者が保管し、展示やウェブサイトでの公開、研究や伝承活動等に活用させていただきます。

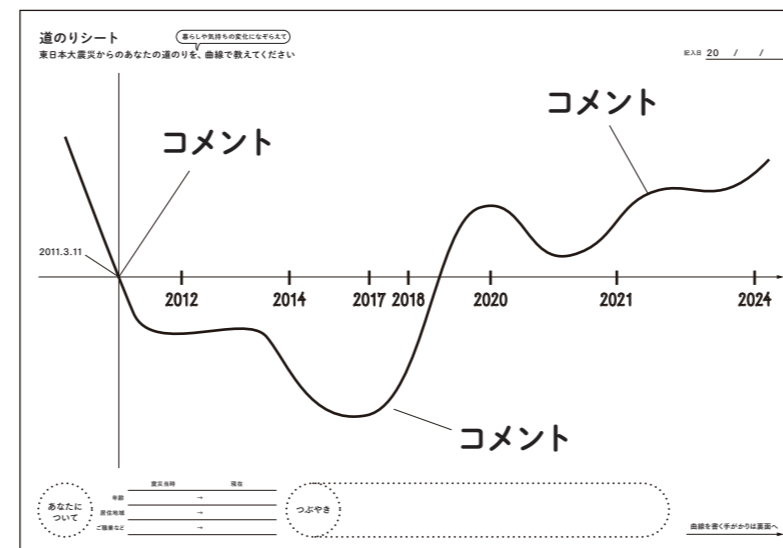
## ① 曲線を描く

横軸に年を書き入れる。曲線を自由に描く。  
（時間軸の間隔は自由です。）



## ② コメントを書き込む

描いた曲線に、  
転機やできごとを書き込んでみてください。



### 描くための手がかりとなる質問

- 生活が落ち着いたのはいつ頃ですか？
- いちばん気持ちが上がっていた時はいつですか？
- いちばん気持ちが落ち込んでいた時はいつですか？
- 家、故郷、仕事、家族、健康、お金…などの状況は変わりましたか？
- 心の支えとなるものはありますか？
- 転機や区切りとなった出来事がありますか？
- 人との交流に変化はありましたか？
- 忙しさは変化しましたか？
- 変わったこと、変わらないことは何ですか？

### ※ 復興曲線（復興曲線インタビュー）とは

被災された方に災害から今までの出来事について、曲線を描きながら語ってもらうインタビュー手法です。曲線を描くシートは、横軸が災害から今までの時間、縦軸が気持ちの変化を表します。

復興曲線インタビューは、新潟県中越地震（2004年）の後、大きな被害を受けた中山間地域に関わる中で生まれたものです。中越地震の被災地では、復興にあたって、そもそも自分たちが考える幸せや豊かさとはどのようなものなのだろうかということが問われました。そのような被災地で、被災者自身が復興について語る機会があれば、復興はどのように語られるのだろうかと考え、この手法を用いながら人びとの語りに耳を傾け、研究を行っています。（宮本匠）

### ご協力をお願い

今後の調査研究のため、ご記入いただいた本シートを拝見した上で、詳しくお話を伺いたい方には、別途インタビューを行いたいと考えています。ご協力いただける方は、下記にご連絡先をご記入ください。後日、宮本研究室から連絡をさせていただく場合があります。

お名前 \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

お預かりした個人情報は、上記以外の目的には使用いたしません。  
聞き取り内容を論文・発表等で公開する際には、お名前や固有名詞を伏せ、個人が特定されないよう配慮いたします。

本研究についての連絡先  
宮本匠（みやもと・たくみ）  
大阪大学大学院人間科学研究科 准教授  
連絡先：miyamoto.takumi.hus@osaka-u.ac.jp